
目次

-
- 【1】 --- 教員コラム 20 弾 第 3 回「世界の図書館を巡る」
医療レギュラトリーサイエンス学／中島 宣雅
-

- 【2】 --- 電子ブック 7 タイトルを追加
-

- 【3】 --- 便座クリーナーを設置しました
-

- 【4】 --- [8/27(木)] 和スイーツの出張販売
-

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

- 【1】 --- 教員コラム 20 弾 第 3 回「世界の図書館を巡る」

医療レギュラトリーサイエンス学／中島 宣雅

.....

この寄稿の機会をいただき、あらためて自分にとっての「本」と「図書館」について思いを巡らせてみた。

子どもの頃、友人とうまくなじめず、本は心のよりどころであり、逃げ場でもあった。気づけば図書館は落ち着ける場所になり、さまざまな思い出が積み重なる場所にもなった。

厚生労働省に入省した当時は、いわゆるブラックな勤務環境で、ほぼ毎日タクシー帰り。留学のための勉強を帰宅後にしたかったが、疲労困憊でまったく手につかず、その代わりに夕方、職場を抜け出して目の前の日比谷図書館で毎日 1 時間だけ英語を勉強した。内閣府に出向した際には、すぐ近くに国会図書館があり、春には桜を楽しみ、2 階のレストラン（メンバーしか入れないため静かで快適）で一息つくことができた。

そうした経験の積み重ねから、いつしか国内外の図書館を意識的に訪れるようになった。国内では東洋文庫ミュージアム（厳密には図書館ではないかもしれない）が印象深い。世界最大級の東洋学古書コレクションを有し、併設されるモリソン書庫は圧巻である。先日ふらりと立ち寄った際には「怖い本」をテーマにした企画展が開催されており、

死後の世界や地獄の描写、日本の怪奇・妖怪、アジア各地の怪異伝承、人が生む恐ろしさ（刑罰・事件・衝突）など、心に残る展示が並んでいた。

海外でも図書館に立ち寄ることが多い。米国議会図書館は日本の国会図書館をはるかに凌ぐ規模を誇り、その蔵書量と建築の美しさは圧倒的だ。外国人でも簡単に入館証を作成でき、当時は貸出も可能だった。個人の蔵書に基づくセクションが多く、なかでもジェファソン・リーディングルームは円形の巨大な読書室で、天井装飾や柱、彫刻が見事で、この図書館を象徴する空間といえる。ダブリンのトリニティ・カレッジ旧図書館では、中世写本の最高峰の一つとされる「ケルズの書」が展示されている。内容は理解できないが、本が美術品として評価される理由に深く納得した。ロングルームには約 20 万冊の古書が並び、こちらも「世界で最も美しい図書館」の一つとして知られている。娘が留学していたノースカロライナ大学アーカンソー校には、確か 24 時間オープンのかなた図書館があり、真剣な眼差しで本を読む学生たちの姿が頼もしく感じられた。

私は本をよく購入するが、ミニマリストを自称しているため、多くは読後に処分する。途中で挫折する本も少なくない。それでも、10 冊に 1 冊ほどは「老後にもう一度読みたい」と思い、本棚に残している。漫画（趣味のワインを題材にした『神の雫』全 43 巻）から、専門書（装飾タイルに関する本など）まで、現在は 100 冊を超える蔵書になった。

こうして振り返ると、本や図書館は本当に自分の生活のすぐそばにある存在だとあらためて感じる。京都に来て 1 年。仕事が忙しすぎる?せいか、まだ新しい本や図書館との関係を築けていない。今回の寄稿をきっかけに、京都でも本と図書館を巡る旅を再開したい。そして、新しい思い出とともに、我が家の小さな図書館をさらに充実させていきたい。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- 電子ブック 7 タイトルを追加

.....

昨年のトライアルで人気があったメディカルオンラインの図書など、司書がセレクトした 7 タイトルが電子ブックで見られるようになりました。

[「ねころんで読める心不全一症例を通して病態を理解できる／最前線の実践知を知る」](#)

[「レジデントのための心不全道場」](#)

[「時系列で紐解く 有益な輸液の話」](#)

[「文献検索の超基本 PT・OT・ST のための PubMed 実践ガイド」](#)

[「イメージでわかる免疫学」](#)

「[研修医のための内科診療ことはじめ 救急・病棟リファレンス](#)」

「[麻酔科トラブルシューティング AtoZ 第2版](#)」

発行年などタイトルリストは[こちら](#)。ぜひご利用ください。

【3】 --- 便座クリーナーを設置しました

.....

附属図書館1階の男女+多機能トイレと看護学学舎1階の男女トイレに、シートクリーナーを設置しました。これまで以上に清潔にお使いいただけます。広小路キャンパス活性化プロジェクトでは、利用する皆さんのアメニティを充実し、これからも快適な空間の提供に努力してまいります。

【4】 --- [8/27(木)] 和スイーツの出張販売

.....

Koto Square へ、和スイーツで人気『如月』さんが出張販売に来られます。わらび餅や水ようかん、フルーツ大福など、勉強で疲れた頭に糖分補給はいかがでしょう？

「[葉月の和スイーツ販売](#)」2026/8/27(木)11:00～14:00

[Book Review]・・・編集後記にかえて

.....

塩田武士『罪の声』（講談社文庫 2019 年）

俊也が母に頼まれた探し物をしていた時に、偶然出てきた古いカセットテープ。再生すると自分の幼いころの歌声に続いて録音されていたのは、日本中を震撼させたグリコ森永事件の脅迫に使われた声。それが同じ幼い自分の声だった。そんなセンセーショナルな切り口から始まる物語。同時期に、31年前の未解決事件を追う阿久津記者。キツネ目の男。

事件の巻き添えにあった不幸な親子とその後は…。映画化もされて、当時はかなり評判になった1冊らしい。真実ではないと思いつつも、ドキドキしながら一気に読み終えた。(K.M.)(京都市中央図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4065148251>

.....

図書館メール News576 号 2026.8.20 発行（隔週木曜日発行）

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

（図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓）

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>